

あとがき

「臨床眼科」9月号をお届けします。小欄執筆時の本日は実は七夕なのですが、9月のことをあれこれと連想しながら書いています。リオデジャネイロオリンピックが8月で終わり、何となく祭りの後の空虚感に浸りつつも、9月のパラリンピックを観戦している、といった状況が思い浮かびます。4年前のロンドン大会がつい先日のことのように感じられますが、そうすると4年後の東京大会などもあつという間ということになります。本当に早いものですね。私なども任された任期に限りがありますので、とにかく集中力をいかに維持させるかが常に自分に対する課題となっています。

ところで、今月も「臨床眼科」は盛りだくさんの内容です。「今月の話題」では溝田淳先生に重粒子線治療による涙腺悪性腫瘍と脈絡膜悪性黒色腫の治療の現状について大変わかりやすく解説していただきました。両腫瘍とも標準的治療では眼球を残すことが厳しい状況ですが、視機能はともかくも眼球温存を図ることができるという点において重粒子線療法には有用性があるものと思います。ただ、私の経験では眼球温存できるからといって手放しで喜べないことも理解しておく必要があるようで、放射線網膜症に伴う血管新生緑内障の発症は念頭に置いたほうがよく、場合によっては予防的な網膜光凝固も早期に考慮すべきではないかと感じています。「緑内障道場」では小児の「高眼圧」症例に対する考え方が実に要領よく述べられています。私も時にこのような症例を診察することがあり、長い将来のある小児を高眼圧症として治療開始するべきかどうか迷うことがあります。本欄はその指針として非常に有用な内容になっています。その他にもさまざまな内容があり、オリンピック後の空虚感を紛らわせるのに十分すぎるほど充実した本号を、早秋の読み物としてご愛読願います。

(中澤 満)

編集顧問	清水弘一	馬嶋昭生	増田寛次郎	大野重昭	玉井 信	三宅義三	西田輝夫
	水流忠彦	根木 昭					
編集委員	寺崎浩子	中澤 満	坂本泰二	鈴木康之	下村嘉一	稲谷 大	

臨床眼科 (第70巻 第9号)

2016年9月15日発行 (毎月1回15日発行)

定価：本体 2,800 円＋税

(2016 年年間購読料(増刊号を含む 13 冊, 送料弊社負担)
冊子版 40,140 円＋税
冊子＋電子版/個人 45,140 円＋税
冊子＋電子版/共有 51,200 円＋税
電子版/個人 40,140 円＋税 電子版/共有 46,200 円＋税)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室 (03) 3817-5706 FAX (03) 3815-7802

E-mail: ringan@igaku-shoin.co.jp

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 東京 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

- ・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan.
- ・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- ・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。
- ・ 「臨床眼科」は株式会社医学書院の登録商標です。

担当 山本・松井・安部